

景気の動き

四 国（四経連「景気動向調査」結果）

項目	12月調査	前回（9月）調査
調査結果の概要	四国の景気は、持ち直しの動きが続いている。	同左
経営者の景況感	明るさが続いている	同左
生産	持ち直しの動きが続いている	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直しの動きが続いている	持ち直しの動きがみられる
在庫	「過剰」・「やや過剰」とする割合がほぼ横ばいとなっている	「過剰」・「やや過剰」とする割合が低下している
企業業績	良好に推移している	同左
設備投資	堅調に推移している	同左
雇用	良好な状況となっている	同左
個人消費	全体として回復が続いている	同左

〔四国経済連合会 2024年12月23日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	12月月例	11月月例
基調判断	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。）	同左
個人消費	一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる	同左
設備投資	持ち直しの動きがみられる	同左
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	同左
公共投資	底堅く推移している	同左
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている
	輸入	このところ持ち直しの動きがみられる
	貿易・サービス収支	赤字となっている
生産	横ばいとなっている	このところ横ばいとなっている
企業	収益	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている
	業況判断	改善している
	倒産件数	増勢が鈍化している
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左
物価	国内企業物価	このところ緩やかに上昇している
	消費者物価	このところ上昇している

〔内閣府 2024年12月20日発表〕